



＜本校の授業改善に向けた視点＞

<p>指導内容・指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○分かる授業、学びが楽しい授業を実践する。 ○指導計画、評価規準、週案に沿った計画的な授業を行う。 ○算数の習熟度別指導をはじめ、個に応じた指導の充実を図る。 ○学習ボランティアを積極的に活用する。 ○特別支援教育の視点で学習環境を整備する。 	<p>教育課程編成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水曜日に午前5時間授業を行い、時数の確保を図る。 ○十二小タイムや朝学タイムを活用して算数科をはじめとする基礎・基本の徹底を行う。 ○読書マラソンや保護者・教員による読み聞かせを通して読書の習慣化を図る。 	<p>校内における研究や研修の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己申告、授業参観による授業改善の推進を行う。 ○校内研究で「読むこと」に関する研究授業を行い、指導の改善や授業力の向上に努める。 ○小平市教科等研究会に積極的に参加する。 ○校内OJTを定期的に行うことで互いに学び合い、自己の課題を克服する。 	<p>評価活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルによる指導と評価の一体化の考えのもと、指導のねらいの達成と学習内容の定着強化を図る。 ○年間指導計画に基づいた評価規準を作成する。 ○学校評価アンケートや学校公開アンケートから児童・保護者・地域の声を取り入れる。 ○評価委員会を中心とし評価規準に関する共通理解を図る。 	<p>家庭や地域社会との連携の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページを中心に児童の成長や教師の指導を発信し、家庭や地域との協力・連携を強化する。 ○年3回の十二小家庭学習強化週間を推進する。 ○コミュニティ・スクールの学力向上プロジェクトチームや体力向上プロジェクトチームと連携した活動を積極的に行う。
--	--	---	--	---